

平成 27 年 9 月 8 日

松阪記者クラブ 様、

資料提供 「日本遺産魅力発信推進事業」 内容について

送信者：明和町齋宮跡・文化観光課 中野

電 話：0596-52-7126 (齋宮跡課・文化観光課)

ファクス：0596-52-7133 (庁舎 2 階)

- 1 **提供事項**：「日本遺産魅力発信推進事業」の事業内容について
- 2 **内 容**：日本遺産の認定を受け、文化庁の補助により行う「日本遺産魅力発信推進事業」の事業内容が決まりました。
当該事業は、申請自治体及び団体等で結成された協議会が事業主体となって実施することとなり、6 月 10 日付けで、「明和町日本遺産活用推進協議会」（構成団体は別紙）を設立しました。
平成 27 年度の「日本遺産魅力発信推進事業」は、別紙のとおりです。

3 問い合わせ先

明和町齋宮跡・文化観光課 中野
電話 0596-52-7138

平成27年度 明和町日本遺産活用推進協議会事業計画（案）

- 平成27年6月27日 第1回 明和町日本遺産活用推進協議会の開催
会場：明和町役場 研修室
議題：日本遺産の概要について
日本遺産魅力発信推進事業の事業要望について
平成27年度 予算について
- 平成27年7月 1日 日本遺産魅力発信推進事業交付申請書提出
- 平成27年8月25日 第2回 明和町日本遺産活用推進協議会の開催
会場：明和町役場 大会議室
議題：平成27年度事業計画について
- 平成27年8月～ 日本遺産魅力発信推進事業の随時発注
- 平成27年8月～ 平成28年度 日本遺産魅力発信推進事業の内容検討
- 平成27年9月26日 復元建物竣工式・観月会・物産展
27日 日本遺産認定記念 こどもわいわいフェステバルを主催
- 平成27年10月24日 「さいくう平安の杜」フェスタ
25日
- 平成27年11月 第3回 明和町日本遺産活用推進協議会の開催
- 平成28年 2月 第4回 明和町日本遺産活用推進協議会の開催

その他

※ 各構成団体による日本遺産認定 PR の推進

平成27年度 日本遺産魅力発信推進事業概要

【総事業費37,178千円:補助率100%(国)】

1. 情報発信・人材育成事業

(1) 日本遺産総合パンフレット作成事業 (3,104千円)

総合パンフレットは、全構成文化財を対象としストーリーとの関連や位置付、価値を紹介し理解できるよう、一般向け(平成27年度)と小学生向け(平成28年度)の2種類を作成する。平成27年度は、一般向けを作成し、全中学生(約750人)と町内全世帯(約8,000世帯)に配布するとともに観光キャンペーンやイベントにおいても配布し情報発信する。

(2) 日本遺産プロモーションビデオ制作事業 (2,160千円)

プロモーションビデオは、日本遺産のストーリーが簡潔にわかりやすく理解出来るよう5分~20分程度のものを作成し、公共施設、観光関連施設などで放映したり、ホームページで配信することで広く周知を図る。また、来年度以降に外国人を対象に多言語版も作成する。多言語化については、本年度、町が実施する観光動向調査のデータを分析して、何か国を対象にするかなどを検討する。

(3) 日本遺産認定特別番組制作事業 (17,496千円)

番組制作は、『祈る皇女斎王のみやこ 斎宮』を構成する文化財群それぞれを、「ストーリー」との関連性を紹介すると共に、文化財そのものの「歴史・文化・伝統」の紹介も盛り込み、日本遺産の歴史的魅力を1時間程度で収録し、特別番組として放映する。また、海外メディアを通じて海外へも情報発信を図る。

(4) 日本遺産アプリ開発事業 (14,418千円)

構成する文化財12か所の地図情報を登録し、目的地までの地図案内とストーリーをより深く感じてもらえるよう各構成文化財の説明をARを活用して可視化を行うことでよりわかりやすい案内を可能にする。また、導入しようとする既存アプリには4カ国5種類(日本語、英語、中国語(2種)、韓国語)の言語が標準仕様となっているため、その機能を活用することで外国人の誘客を図る。

2. 公開活用のための整備に係る事業

(1) 案内板・説明板の設置 (1,542千円)

日本遺産のストーリーを構成する文化財の理解の促進を図るため、構成文化財12か所すべてに説明板を設置する。

平成27年度については5か所に設置する。次年度以降も計画的に設置する。

(2) のぼりの設置 (458千円)

のぼりを作成して、日本遺産のストーリーを構成する文化財であることの周知とその場所が周囲からわかるよう効果のある場所に設置する。

文化庁長官 様

団 体 名 明和町日本遺産活用推進協議会
住 所 三重県多気郡明和町大字馬之上945番地
代表者職名 会長
代表者氏名 寺前 和彦

平成 27 年度文化芸術振興費補助金（日本遺産魅力発信推進事業）交付申請書

平成 27 年度文化芸術振興費補助金（日本遺産魅力発信推進事業）について、補助金の交付を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

補助事業の種類	日本遺産魅力発信推進事業
事業の名称	日本遺産「斎宮」活用推進事業
補助事業経費の配分	主たる事業費 39,273,200 円 その他の経費 0 円 合 計 39,273,200 円
補助事業の着手及び完了の予定期日	着 手 27 年 7 月 2 日 完 了 28 年 3 月 15 日
補助金の交付申請額	39,273,200 円 (総補助事業経費 39,273,200 円 の定額)
その他参考となるべき事項	

(ふりがな)	なかの あつお
担当者氏名	中野 敦夫
連絡先 (TEL)	0 5 9 6 - 5 2 - 7 1 2 6
〃 (FAX)	0 5 9 6 - 5 2 - 7 1 3 3
〃 (E-MAIL)	a-nakano86@town.mie-meiya.lg.jp
書類等の郵送先	三重県多気郡明和町大字馬之上 9 4 5
その他 (日中連絡先)	0 9 0 - 4 8 6 4 - 0 5 1 8

＜平成27年度事業計画書＞

事業の名称	日本遺産「斎宮」活用推進事業
事業の内容（具体的に記入すること）	
<p>1. 情報発信・人材育成事業</p> <p>(1) 日本遺産総合パンフレット作成事業 総合パンフレットは、全構成文化財を対象としストーリーとの関連や位置付、価値を紹介し理解できるよう、一般向け（平成27年度）と小学生向け（平成28年度）の2種類を作成する。平成27年度は、一般向けを作成し、全中学生（約750人）と町内全世帯（約8,000世帯）に配布するとともに観光キャンペーンやイベントにおいても配布し情報発信する。</p> <p>(2) 日本遺産プロモーションビデオ制作事業 プロモーションビデオは、日本遺産のストーリーが簡潔にわかりやすく理解出来るよう5分～20分程度のものを作成し、公共施設、観光関連施設などで放映したり、ホームページで配信することで広く周知を図る。また、来年度以降に外国人を対象に多言語版も作成する。多言語化については、本年度、町が実施する観光動向調査のデーターを分析して、何か国を対象にするかなどを検討する。</p> <p>(3) 日本遺産認定特別番組制作事業（企画書参照） 番組制作は、『祈る皇女斎王のみやこ 斎宮』を構成する文化財群それぞれを、「ストーリー」との関連性を紹介すると共に、文化財そのものの「歴史・文化・伝統」の紹介も盛り込み、日本遺産の歴史的魅力を1時間程度で収録し、特別番組として放映する。また、海外メディアを通じて海外へも情報発信を図る。</p> <p>(4) 日本遺産アプリ開発事業 構成する文化財12か所の地図情報を登録し、目的地までの地図案内とストーリーをより深く感じてもらえるよう各構成文化財の説明をARを活用して可視化を行うことでよりわかりやすい案内を可能にする。また、導入しようとする既存アプリには4か国5種類（日本語、英語、中国語（2種）、韓国語）の言語が標準仕様となっているため、その機能を活用することで外国人の誘客を図る。</p> <p>2. 公開活用のための整備に係る事業</p> <p>(1) 案内板・説明板の設置 日本遺産のストーリーを構成する文化財の理解の促進を図るため、構成文化財12か所すべてに説明板を設置する。平成27年度については5か所に設置する。次年度以降も計画的に設置する。（設置図参照）</p> <p>(2) のぼりの設置 のぼりを作成して、日本遺産のストーリーを構成する文化財であることの周知とその場所が周囲からわかるよう効果のある場所に設置する。（設置図参照）</p>	
事業実施により想定される効果（具体的に記入すること）	
<p>① 想定される効果</p> <p>1. 情報発信・人材育成事業</p> <p>(1) 日本遺産総合パンフレット作成事業 日本遺産の総合パンフレットは、一般向け（平成27年度）と小学生向け（平成28年度）の2種類を作成する。小学生向けは、町内6校の5・6年生に配布し、日本遺産の授業枠を確保した中で、日本遺産を分かりやすく理解できる副読本として活用する。一般向けの冊子は、中学生全員（約750人）に配布し、日本遺産の学習の中で副読本として活用する。そのほか町内全世帯（約8000世帯）に配布すると共に観光キャンペーンやイベントなどで広く配布し情報発信する。パンフレットを見ることで、日本遺産のストーリーが構成する文化財とどのように関連しているのかへの理解と地域の魅力を再認識してもらうことができ、日本遺産に対する意識向上が図れる。また、全世帯に配布することで、町民の日本遺産に対する理解度が向上し、容易に観光客に対して説明が可能になる。</p> <p>(2) 日本遺産プロモーションビデオ制作事業 日本遺産のストーリーが簡潔にわかりやすく理解出来るよう5分～20分程度のものを作成し、公共施設、観光関連施設、全国各地で開催される観光PRイベントなどで放映したり、ホームページで配信することで、日本遺産の魅力を広く周知することができ、観光客の誘客増員に繋がり、地域の活性化に寄与する。 また、これを多言語化にもすることで、インターネットを通じて海外への発信が可能となり、外国人の誘客に寄与する。</p> <p>(3) 日本遺産認定特別番組制作事業 日本遺産番組の内容は、『祈る皇女斎王のみやこ 斎宮』を構成する文化財群それぞれを、「ストーリー」との関連性を紹介すると共に、文化財そのものの「歴史・文化・伝統」の紹介も盛り込み、日本遺産の歴史的魅力を特別番組として放映する。また、海外メディアを通じて海外へも情報発信し周知を図る。このことは、「インバウンド誘致」の促進のみならず、波及効果として「日本遺産」というフレーズの「ブランディング効果」にも繋がる。</p> <p>(4) 日本遺産アプリ開発事業 地図アプリに構成する文化財12か所の地図情報を登録し、地図が苦手な人でも安心して目的地に向かうことができ、各構成文化財の説明をARを活用して可視化を行うことで、ストーリーをより深く知ってもらえる。また、多言語機能を活用することで、外国人に対しても同様の効果があり、外国人誘客の増員にも寄与する。</p> <p>2. 公開活用のための整備に係る事業</p> <p>(1) 案内板・説明板の設置 説明板を現地に設置することにより、地域住民はもとより観光客にも、構成文化財を巡りながら、日本遺産のストーリーの理解に寄与する。</p> <p>(2) のぼりの設置 日本遺産のストーリーを構成する文化財を理解してもらうために現地に赴き、体感、実感してもらえるよう、のぼりを設置することで、構成文化財の場所を示す目印となり周知を図ることに寄与する。</p> <p>② 効果の測定方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産のストーリーを構成する文化財の核となる施設への来館者数及びアンケートの実施 ・新聞等による報道状況 ・町が実施する観光動向調査結果の分析 ・日本遺産アプリへの接続回数 ・番組放送の視聴データ 	

<収支予算書 日本遺産魅力発信推進事業>

区分	金額 (予定を含む。)	内訳	
収入の部	本事業以外の補助金・助成金	0	
	その他収入	0	
	小計 (A)	0	
	自己負担金 (B)	95,200	
	本事業による補助金の交付申請額 (C)	39,178,000	
①収入合計 (A) + (B) + (C)	39,273,200	0	

区分	総事業費	交付申請額	左記のうち自己負担額等	
支出の部	日本遺産魅力発信推進事業	39,273,200	39,178,000	95,200
	主たる経費	39,273,200	39,178,000	95,200
	情報発信、人材育成事業	37,216,800	37,178,000	38,800
	普及啓発事業	0	0	
	調査研究事業	0	0	
	公開活用のための整備に係る事業	2,056,400	2,000,000	56,400
その他経費 (事務経費)				

<支出内訳明細>

(区分) ① 日本遺産魅力発信推進事業 II その他経費(事務費)

(項) ① 情報発信・人材育成 2. 普及啓発 3. 調査研究 4. 公開活用のための整備に係る事業

事業名称	経費内訳	総事業費	交付申請額	自己負担額等
日本遺産総合パンフレット作成事業	制作委託費 一式 $2,130,000 \times 1.08 = 2,300,400$ 円 印刷製品費 $30,000 \text{冊} \times 26 \text{円} \times 1.08 = 842,400$ 円 (資料番号①)	3,142,800	3,104,000	38,800
日本遺産プロモーションビデオ作成事業	日本遺産プロモーションビデオ制作委託費 一式 $2,000,000 \text{円} \times 1.08 = 2,160,000$ (資料番号②)	2,160,000	2,160,000	0
日本遺産認定記念特別番組製作事業	日本遺産番組制作・放送委託費 $16,200,000 \text{円} \times 1.08 = 17,496,000$ 円 (資料番号③)	17,496,000	17,496,000	0
多言語日本遺産アプリ開発事業	日本遺産アプリ開発委託費 $13,350,000 \text{円} \times 1.08 = 14,418,000$ 円 (資料番号④)	14,418,000	14,418,000	0
合 計		37,216,800	37,178,000	38,800

※ 課税対象経費については、消費税率8%として記載すること。

<支出内訳明細>

(区分) ① 日本遺産魅力発信推進事業 II その他経費(事務費)

(項) 1. 情報発信・人材育成 2. 普及啓発 3. 調査研究 ④ 公開活用のための整備に係る事業

事業名称	経費内訳	総事業費	交付要望額	自己負担額等
説明板の設置	説明板設置工事 $296,000円 \times 5基 \times 1.08 = 1,598,400円$ (資料番号⑤ 説明板設置場所、仕様別添)	1,598,400	1,542,000	56,400
のぼり製作	のぼり(大) $40,000円 \times 10本 = 400,000円$ のぼり(小) $2,900円 \times 20本 = 58,000円$ (資料番号⑥ 設置場所図、仕様別添)	458,000	458,000	0
				0
合 計		2,056,400	2,000,000	56,400

※ 課税対象経費については、消費税率8%として記載すること。

協議会等(補助の対象となる者)の概要

(ふりがな) 名称	めいわちょうにほんいさんかつようすいしんきょうぎかい	(ふりがな) 代表者職名・氏名	てらまえ かずひこ
	明和町日本遺産活用推進協議会		会長 寺前 和彦
所在地	三重県多気郡明和町大字馬之上945番地	電話番号	0596-52-7126
		FAX番号	0596-52-7133
団体設立年月	平成27年6月10日		
役職員		構成団体	
会長 副会長 監事	寺前 和彦 大和谷 正 辻 丈昭	(1)明和町 (2)齋宮歴史博物館 (3)公益財団法人国史跡齋宮跡保存協会 (4)国史跡齋宮跡協議会 (5)明和町商工会 (6)明和町観光協会(齋王まつり実行委員会、大淀祭典委員会、明和太鼓保存会、明和音頭保存会、齋宮跡ガイドボランティア) (7)明和町特産品振興連絡協議会 (8)明和町郷土文化を守る会 (9)明和町緑のまちづくり推進委員会 (10)史跡齋宮跡・伊勢街道まちづくり会 (11)齋王の舞保存会 (12)呉竹倶楽部 (13)近畿日本鉄道株式会社 (14)三重交通株式会社	
設置目的	協議会は、文化庁の「日本遺産魅力発信推進事業」(以下「文化庁事業」という。)を活用し、関係団体の連携強化を図りながら、日本遺産ストーリーを構成する文化財をはじめ歴史的資源を効果的に活用し、次世代への継承と地域の活性化及び観光振興に資することを目的とする。		

※ 協議会等及び構成団体の定款・寄付行為に類する規約を併せて提出すること。

